



回覧

令和4年9月28日

市民の皆様へ

千葉県共同募金会印西市支会

支会長 板倉 正直

(公印省略)

令和4年度赤い羽根共同募金運動へのご協力をお願いします。

市民の皆様におかれましては、赤い羽根共同募金運動に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、本年も令和4年10月1日から令和5年3月31日までを実施期間とする共同募金運動が全国一斉に展開されています。

共同募金は、スタートから今日まで「寄付をする人も寄付を募る人もボランティア」として住民の皆様の参加によって成り立ってきました。

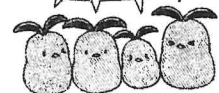
今日まで集められた寄付金は、時代ごとの福祉ニーズに合わせて、福祉施設や福祉団体、社会福祉協議会などが行う様々な地域福祉活動やボランティアの育成を支援するために活用されています。

新型コロナウイルス感染拡大防止による新しい生活様式が日常に定着しつつも、未だ感染に対する不安は消えない状況の中でのお願いになりますが、地域福祉を推進していくことにご理解いただき、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

◎令和4年度支会募金目標額 4,210,000円

◎令和3年度支会募金実績額 3,804,099円

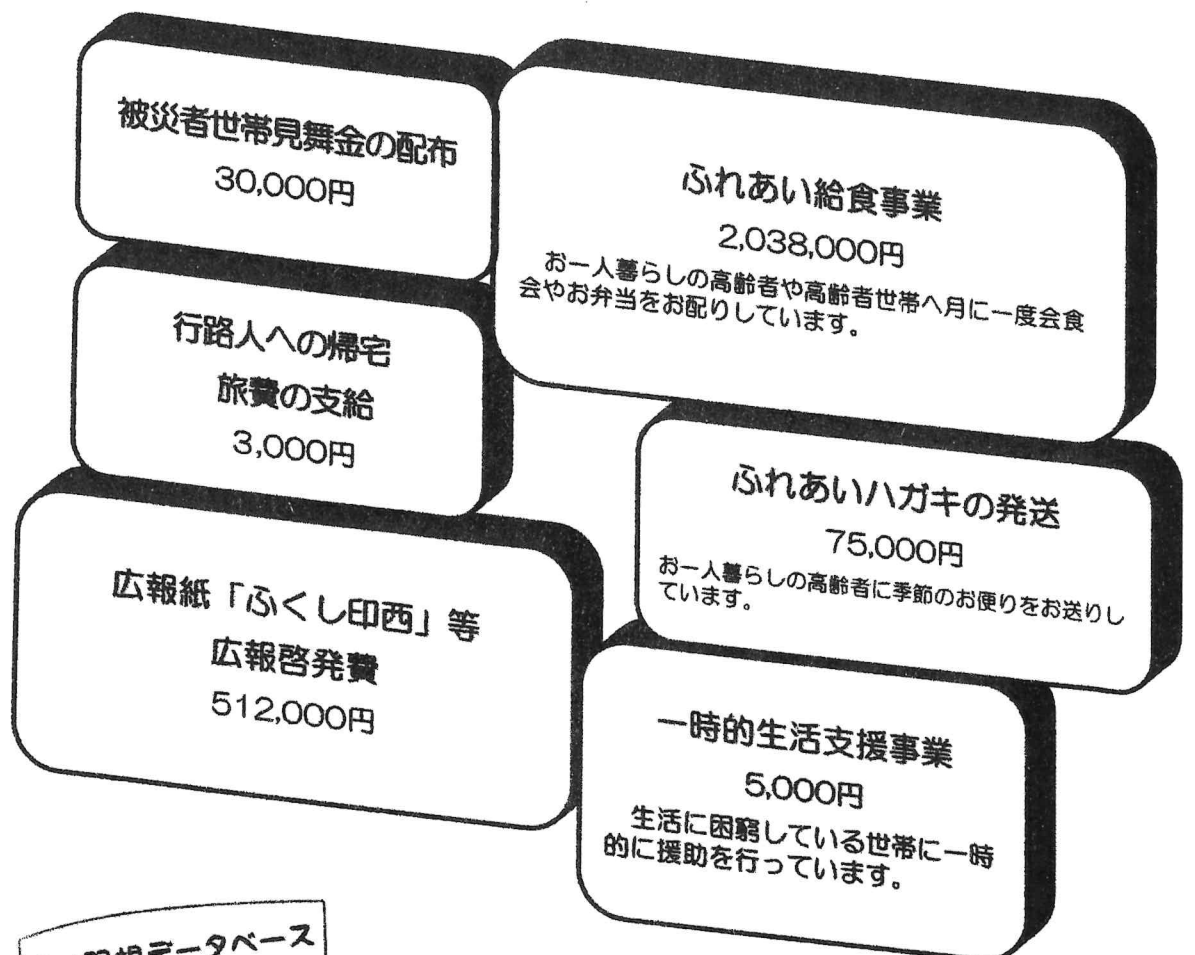
ありがとう



令和3年度の募金実績による令和4年度の事業にかかる地域助成として、千葉県共同募金会より2,663,000円が印西市社会福祉協議会に配分され地域福祉事業に活かされています。

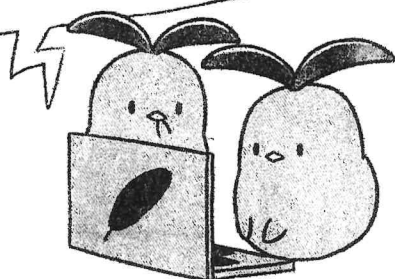
なお、詳しい事業内容はウラ面に掲載しておりますので、ご参照下さい。

社会福祉法人印西市社会福祉協議会では、共同募金配分事業として以下の事業活動を実施しています。



助成額 2,663,000円

赤い羽根データベース
はねっと



はねっと

検索



赤い羽根募金の詳しい使い道は、

「赤い羽根データベース『はねっと』」

で詳しい内容をご覧ください。

◆赤い羽根共同募金運動に関するお問い合わせはこちらまで◆

千葉県共同募金会印西市支会（社会福祉法人印西市社会福祉協議会）
270-1325 印西市竹袋614-9 印西市総合福祉センター内
Tel. 0476-42-0294 FAX 0476-42-0338
URL <http://www.inzaishakyo.jp> eメール info@inzaishakyo.jp



令和4年度

町内会長・自治会長ならびに町内会・自治会のみなさまへ

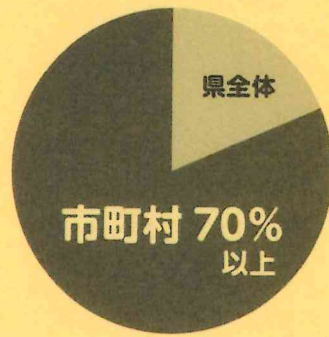
赤い羽根共同募金へのご協力をお願い

赤い羽根共同募金は、地域の高齢者や障害のある人、子どもたちなどに対するさまざまな地域福祉活動を支える「じぶんの町を良くするしくみ。」です。

共同募金の特徴は、皆さまから寄せられた募金が、募金をした県や市町村の福祉の推進など「じぶんの町をよくするために使われる」ことです。「困ったときはお互いさま」の精神からはじまった赤い羽根共同募金。こんな時だからこそ、この町を良くするために、困っている人たちを支えるために、「つながりをたやまない社会づくり」を目指して活動を続けています。

助成額の70%以上は市町村へ

赤い羽根募金の70%・市町村歳末たすけあい募金の100%が市町村で活用されます



困ったときは、おたがいさま

支え合う人たちがいる

赤い羽根共同募金

赤い羽根共同募金

いつも赤い羽根共同募金にご協力いただき、心よりお礼申し上げます。
今年も地域の皆さまの温かいご理解・ご協力をよろしく願いいたします。

共同募金のフィールドは地域です。

共同募金会は、皆様の身近にある福祉の課題を解決するために、全市町村に共同募金の窓口を置き、募金活動と助成を行っています。

令和3年度の千葉県の助成総額約5億9千万円のうち、約4億3千万円は市町村の身近な福祉のために助成し、約1億6千万円は県域の福祉のために助成しました。

【乳児院の子どもたちのためのワークショップ】



災害時にも「地域」の活動を支えます。

大規模災害に備えて、募金の一部を準備金として積み立てています。（積立限度は募金額の3%で3年間）

令和元年度房総半島台風でも災害ボランティアセンターの設置や、被災地で復旧・復興活動を行うボランティア団体の支援のために県内25市町村で3,659万円が活用されました。

また令和3年台風10号による大雨の際にも支援を行いました。

【現在も残る令和元年度房総半島台風被害の復興ボランティア活動】



コロナ禍でも「つながりをたやさない社会づくり」を推進します。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長期化による影響で、職を失い困窮している人や地域で孤立している人などが増え続けています。地域のための民間財源である共同募金は、コロナ禍でも地域で孤立や生きづらさを感じている人の存在に気づき、支え合い、つながり続ける地域づくりのための支援を行っています。

【ひとり暮らしの高齢者への安否確認を兼ねたお弁当お届け事業】



赤い羽根共同募金



千葉県共同募金会 TEL: 043-245-1721 / WEB: <https://akaihane-chiba.jp/>

赤い羽根



共同募金

令和4年10月1日～令和5年3月31日



ひとり暮らしの高齢者への安否確認を兼ねたお弁当お届け事業（富里市）

令和3年度
みなさまから寄せられた募金総額

578,654,858円

赤い羽根募金 374,687,874円

市町村歳末
たすけあい募金 179,645,230円

NHK歳末
たすけあい募金 24,321,754円

令和3年度 共同募金運動にご協力いただきありがとうございました

「みんな」が主役の地域を良くする運動です

「赤い羽根共同募金」は、1947年（昭和22年）に始まって以来、地域の福祉活動に役立ってきた社会福祉法に基づく募金です。

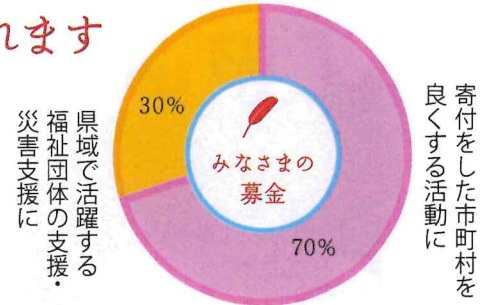
「じぶんの町を良くするしくみ。」をテーマに、全国で年間約7万件にのぼる各地の住民ボランティアや地域福祉活動（高齢者、障がい者、子ども、災害時支援など）を応援しています。



赤い羽根は皆さまの身近な“困りごと”に使われます

千葉県内でお預かりした募金のうち70%が皆様の身近な地域（市・区・町・村内）で福祉課題の解決のため活用されています。残りの30%は県内の社会福祉施設の整備や福祉団体等の活動支援として活用されるほか、災害支援にも役立てられています。（運動経費を除く）

また、新型コロナウイルス感染症拡大の長期化による影響で、職を失い困窮している人や地域で孤立している人などへの支援も行っています。



寄付をした市町村を良くする活動に

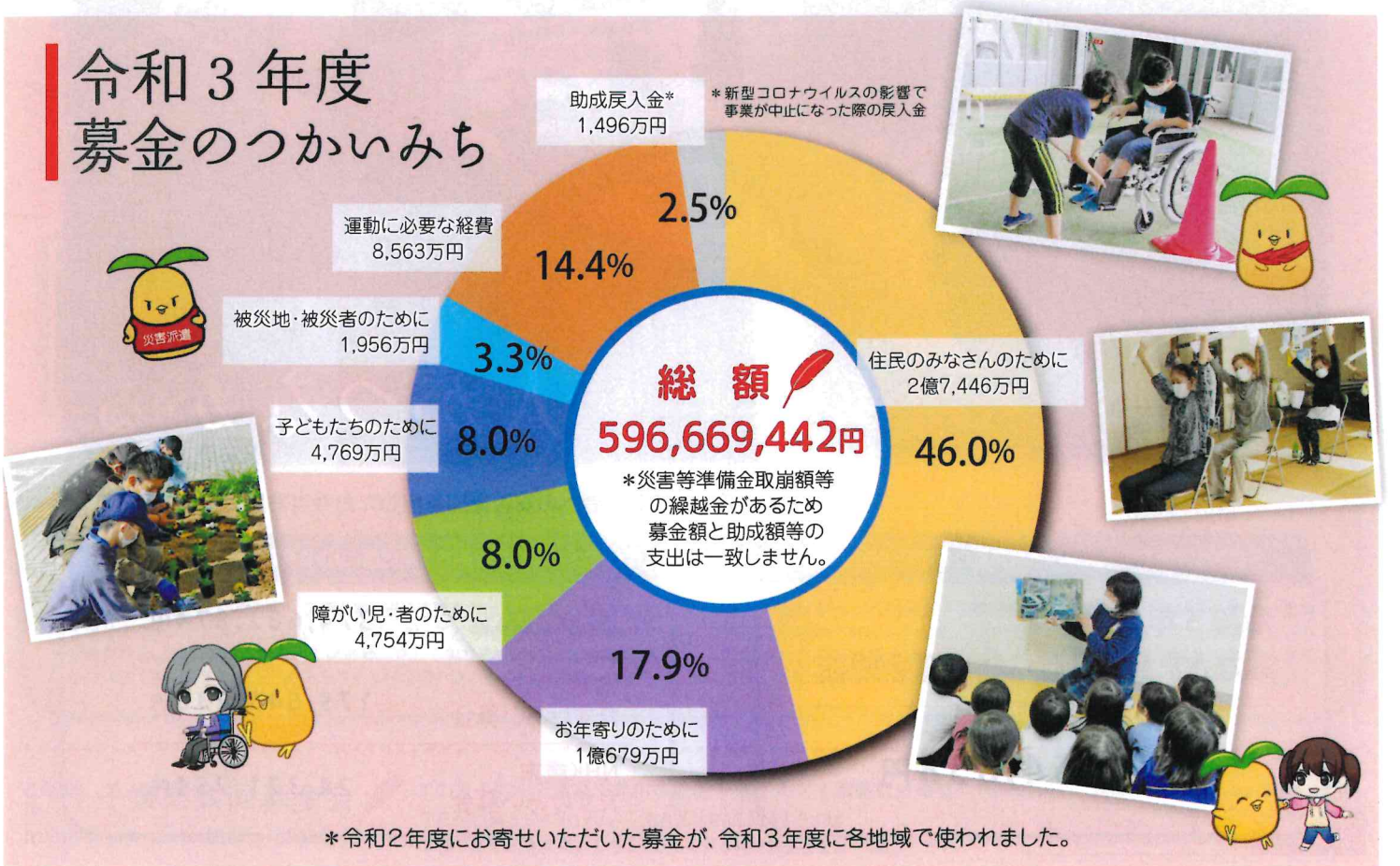
十分な支援を届けるための「募金目標額」

共同募金は、寄付金が集まってから使いみちを決めるのではなく、地域の民間福祉のニーズを受け付けて、使いみちを決めてから募金を行う「計画募金」です。

その為、支援が必要なところに助成支援が行き渡るよう、募金を募るために募金目標額を定めて、皆さまにご寄付のご協力をお願いしています。

今年度の募金目標額	
合計	630,000,000円
赤い羽根募金	390,000,000円
市町村歳末たすけあい募金	210,000,000円
NHK歳末たすけあい募金	30,000,000円

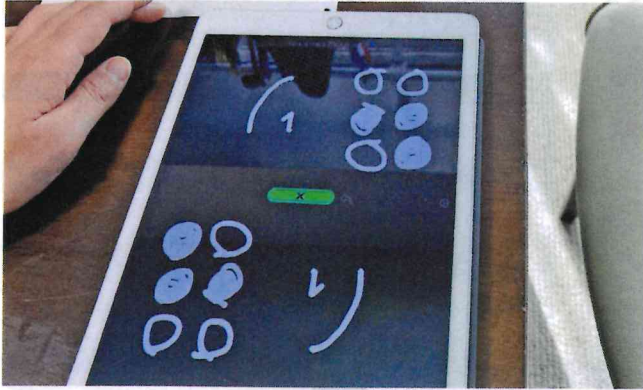
令和3年度 募金のつかいみち



*令和2年度にお寄せいただいた募金が、令和3年度に各地域で使われました。

寄付者のみなさまへ ありがとうメッセージ

お寄せいただいたご浄財が、たくさんの「ありがとう」に変わりました。



視力がわずかにある盲ろう者の方に、タブレットで点字等のコミュニケーション訓練を行いました。(千葉市)



新生児の保護者を訪問し、地域で身近に相談・見守る体制づくりを行いました。(栄町)



地域の病院で車いすの貸し出しや病院内のご案内など行いました。(横芝光町)



令和3年台風10号で住宅被害を受け、要請のあったお家で泥水除去などの災害支援を行いました。(いすみ市)



小学校にて福祉体験学習として、車いす体験や特別支援学校の生徒との交流会を行いました(神崎町)



小児がん闘う子どもたちに、遠隔操作ロボットによる科学館見学を実施しました。(千葉市)

千葉県では毎年2,400件以上の助成を行っています。

これからも、みなさんの募金がたくさん困っている人たちの「ありがとう」に変わるよう活動していきます。



会長 小島 信夫

社会福祉法人
千葉県共同募金会

皆様のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

新型コロナウイルス対策が「新しい生活様式」として日常生活に定着させる動きが広がる中でございますが、地域のつながりをより一層強固なものにし、皆様のあたたかい善意を一人でも多くの困っている方々にお届けできるよう、皆様のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和3年度の共同募金運動は、新型コロナウイルス感染症の終息の兆しが見えず、大変厳しい状況が続いている中で、5億7千万円余のご支援をいただき、深く感謝申し上げます。

ご協力ありがとうございました
ございました



災害へのとりくみ

災害準備金

大規模な災害が起こった際の備えとして、各都道府県の共同募金会では、毎年「赤い羽根募金額」の3%を「災害等準備金」として積み立てています。この積み立ては、災害ボランティア活動支援など、被災地のために使われています。(3年経過後、取崩して共同募金助成に役立てられます。)

令和3年度積立額 **17,290,000円**
積立金総額 **53,058,000円**



災害ボランティアセンターの活動支援



福祉施設の復興支援



ボランティアの活動支援



災害見舞金(令和3年度)

○火災・風水害(台風の被災者含む) **262件 2,076,000円**

被災者・被災地支援(令和3年度)

○令和元年台風15号・19号災害復旧支援活動 **100,000円**
○災害時ボランティア養成研修会 **50,000円**

令和3年度 災害義援金

令和3年度は各地で地震や豪雨による災害が発生し、甚大な被害を及ぼしました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

千葉県共同募金会では、各災害において義援金の募集を行い、その結果下記のとおり義援金をお寄せいただきました。皆様の温かいご協力に心より感謝申し上げます。

災害義援金名	義援金額
平成28年熊本地震義援金	1,245円
平成30年7月広島県豪雨災害義援金	15,948円
令和2年7月豪雨災害義援金	44,460円
令和3年2月福島県沖地震災害義援金	5,741円
令和3年7月大雨災害静岡県義援金	188,596円
令和3年大雨災害義援金	241,284円
合計	497,274円

義援金は被災道府県共同募金会に送金し、被災地それぞれの行政、共同募金会、日本赤十字等で構成される災害義援金の配分委員会において定める配分基準に基づき各市町村を通じて被災者に配分されます。



共同募金運動にご理解・ご協力をお願いいたします

グッズ募金

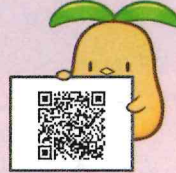
千葉県共同募金会マスコットキャラクター「びわびよ」のグッズや、様々なキャラクターとのコラボグッズなどの購入を通じてご寄付をお願いしております。

令和4年度「びわびよ」ピンバッジ▶



ネット募金

ネットからのご寄付を受け付けております。クレジットカードやコンビニ支払、キャリア決済など様々な決済方法をご用意しています。



あかいはね自販機

売り上げの一部が地域福祉のために寄付される「あかいはね自販機」の設置にご協力いただけるオーナー様を募集しています。



イベント募金

県内を本拠地とするスポーツチームの試合会場など、県内で行われる様々なイベント会場で募金活動を行っています。



新型コロナウイルス感染症拡大の長期化による影響が広がる中でも、様々な対策を行いながら共同募金運動を推進してまいりました。

このような状況でも、温かいご理解・ご協力をいただきました寄付者・ボランティアのみなさまに心より感謝申し上げます。



募金活動Q & A

Q1. 募金は自主的な行為なのに、割り当てがあるのはなぜですか？

共同募金はみなさまに強制的に金額を割り当てる募金ではありません。ただし、地域福祉のニーズに応えるため設けた目標額に対してどの程度募金が必要か、その判断材料として目安額(各市町村の必要額に応じて異なる)を示すことはありますが、あくまで目安ですので、どうかみなさまの任意でご協力をよろしくお願いします。

Q2. 共同募金への寄付金には税の特典があるそうですか？

個人の寄付金は2千円を超える部分が所得控除または税額控除、個人住民税の所得税控除の対象になります。会社などの法人の寄付金は、全額損金算入または寄付金の特別損金算入(社会福祉法人・特定公益増進法人へ寄付金を支出した部分)できます。なお、遺贈による寄附金には相続税がかかりません。